

第**2**章 計画の基本的な考え方

1 計画の基本理念

男女平等参画社会の実現をめざし、「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」第3条に掲げる6つの基本理念に基づき、男女平等参画を推進していきます。

- 1 個人としての尊重と社会的責任の分かち合い
- 2 固定的な性別役割分担意識に基づく社会制度や慣行の解消
- 3 政策又は方針の立案及び決定に参画する機会の確保
- 4 家庭生活と仕事及び地域活動の両立
- 5 性別、性的指向及び性自認による差別、暴力の禁止
- 6 特に困難な状況にある人への配慮

2 計画の期間

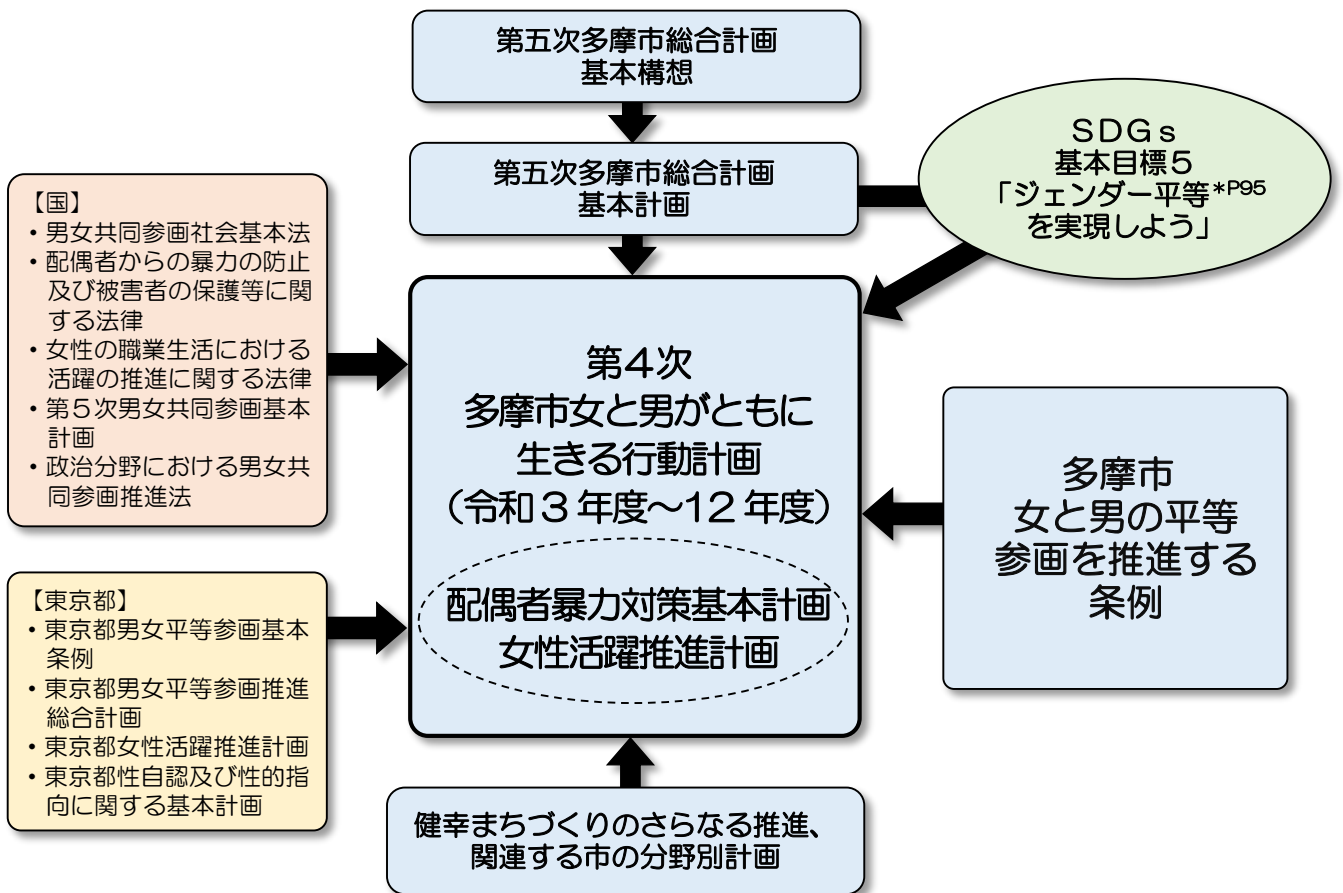
本計画の計画期間は令和3（2021）年度から令和12（2030）年度までの10年間とします。

社会情勢の変化や市民意識の変化等に対応するため、計画の中間年である令和8（2026）年度に見直しを予定しています。

1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
多摩市女と男がともに生きる行動計画						第2次多摩市女と男がともに生きる行動計画						第2次多摩市女と男がともに生きる行動計画（中間見直し）		
						男女共同参画社会基本法施行（6月）		配偶者暴力防止法施行（10月）		配偶者暴力防止法改正（6月）		配偶者暴力防止法改正（7月）		
2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021～2030年		
第2次多摩市女と男がともに生きる行動計画（中間見直し）		第3次多摩市女と男がともに生きる行動計画				第3次多摩市女と男がともに生きる行動計画（中間見直し）				第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画				
		配偶者暴力防止法改正（7月）		多摩市女と男の平等参画を推進する条例施行（1月）		女性活躍推進法完全施行（4月）		政治分野における男女共同参画の推進に関する法律施行（5月）				改正女性活躍推進法施行（6月）		

3 計画の位置づけ

- (1) 本計画は、「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」第9条に基づく計画です。
- (2) 本計画は、「第五次多摩市総合計画基本構想」及びその実現のための「第五次多摩市総合計画基本計画」を上位計画として位置づけるとともに、その他の関連する分野別の計画との整合を図ります。
- (3) 本計画は、「男女共同参画社会基本法」第14条第3項に基づく「市町村男女共同参画計画」として位置づけます。
- (4) 本計画は、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」第2条の3第3項に基づく「市町村基本計画」として位置づけます。
- (5) 本計画は、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」第6条第2項に基づく「市町村推進計画」として位置づけます。
- (6) 本計画は、国の「男女共同参画基本計画」、東京都の「東京都男女平等参画推進総合計画」を踏まえて策定します。
- (7) 本計画は、SDGs^{*P95}の目標の達成に向けた取組として対応します。



4 策定体制

本計画は、令和元（2019）年度に実施した「男女平等・男女共同参画に関する多摩市民意識及び実態調査」及び「多摩市職員意識及び実態調査」を基礎資料とし、また、市長の附属機関である「多摩市男女平等参画推進審議会」からの意見やパブリックコメント等での市民からの意見を踏まえ、全庁的な策定体制により施策を検討し策定しました。

（1）庁内検討体制

①多摩市女と男がともに生きる行動計画推進会議

「多摩市女と男がともに生きる行動計画推進会議設置要綱」第2条※に基づき、計画を策定するための必要な事項を審議しました。全庁体制で検討を進めるため、設置要綱第5条2項※に基づき、くらしと文化部に関する事務を所掌しない副市長及び健幸まちづくり政策監も出席して審議しました。

②多摩市DV^{*P95}防止及び被害者保護に関する庁内関係所管会議

「多摩市DV^{*P95}防止及び被害者保護に関する連絡会設置要綱」第8条※に基づき、配偶者暴力防止及び被害者保護に関する今後の取組について検討しました。

③多摩市次世代育成支援対策及び女性活躍推進委員会

多摩市女性活躍推進委員会と連携し、「多摩市女性活躍推進支援特定事業主行動計画」との整合を図りました。

④関係各課への対象事業調査・ヒアリング

素案作成の段階において、具体的な取組事業を検討するため、関係各課へ男女平等参画推進に関する取組事業の該当調査と個別のヒアリングを実施しました。

⑤令和元年度男女平等・男女共同参画に関する多摩市職員意識及び実態調査

計画策定に向けた基礎資料として調査結果を活用しました。

※多摩市女と男がともに生きる行動計画推進会議設置要綱

第2条 推進会議の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 「女と男がともに生きる行動計画」の改定及び推進に関すること。
- (2) その他女性問題の解決に係る重要事項に関すること。

第5条 2 会長は、必要に応じ第3条で定める者以外の者を推進会議に出席させることができる。

※多摩市DV^{*P95}防止及び被害者保護に関する連絡会設置要綱

第8条 連絡会に多摩市DV^{*P95}防止及び被害者保護に関する庁内関係所管会議（以下「所管会議」という。）を置く。

(2) 審議会

①多摩市男女平等参画推進審議会

多摩市女と男の平等参画を推進する条例第9条4項に基づき諮問し、答申を得ました。

(3) 市民参画

①令和元年度男女平等・男女共同参画に関する多摩市民意識及び実態調査

計画策定に向けた基礎資料として調査結果を活用しました。

②市民ワークショップ

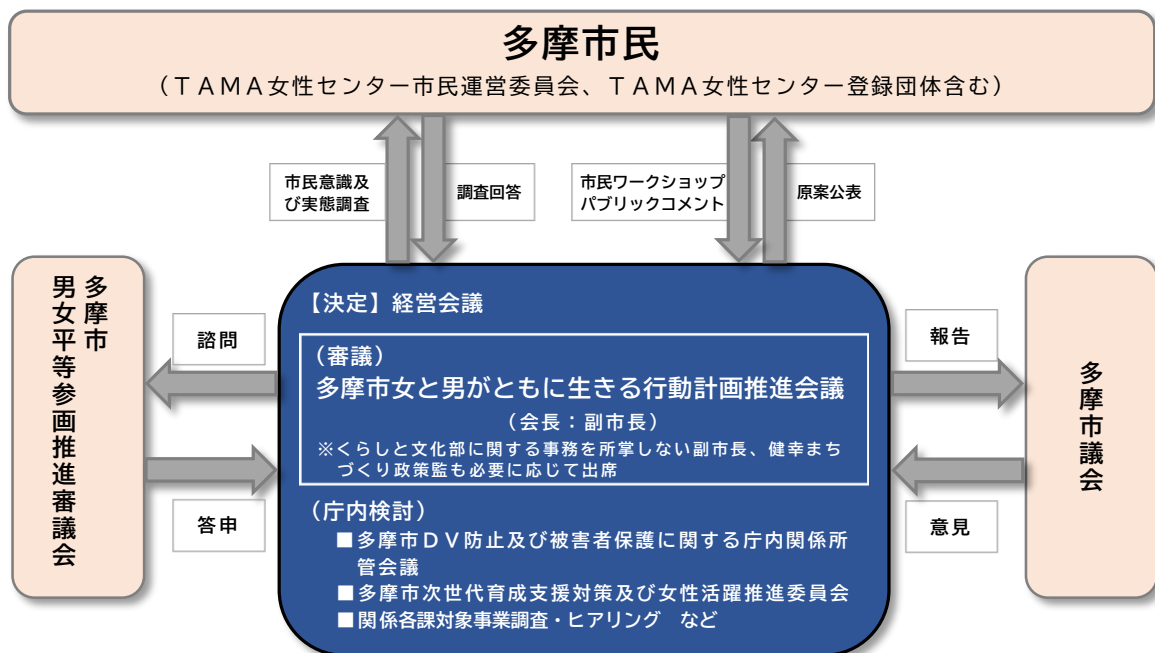
計画の基本目標を検討するにあたり、多様な市民の意見を取り入れるため、市民と市、市民同士の自由な議論による市民ワークショップを開催しました。

③TAMA女性センター市民運営委員会、登録団体との意見交換

市の男女平等参画推進の取組に参画しているTAMA女性センター市民運営委員や登録団体の代表者に市の現状把握や問題点・課題等について意見を伺いました。

④パブリックコメント

素案の段階で、たま広報、公式ホームページ等で計画の趣旨・内容等を公表し、市民からの意見を募集し、市民から寄せられた意見を考慮して原案を作成しました。



事務局: くらしと文化部 平和・人権課 平和・人権・男女平等参画担当

5 計画の基本目標と重点取組

本計画は、4つの基本目標を掲げるとともに、本計画期間の前期5年における重点取組を6つ位置づけ、総合的な施策の展開を図ります。

基本目標 1 性別にとらわれない誰もが暮らしやすいまちの実現

平成26(2014)年1月1日に施行された「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」(以下、「条例」という。)の第1条では、「性別による差別的取扱いを含めた諸問題に対応し、もってすべての人にとって、住みやすく暮らしやすい男女平等参画社会を実現することを目的とします。」と規定しています。

また、条例第3条1項では、「すべての人が、個人として尊重され、性別並びに性的指向及び性自認^{*P95}にかかわらず、個人の能力及び個性を發揮し、意欲及び希望に沿って、社会的責任を分かち合うこと。」、2項では「すべての人が、性別による差別的取扱い並びに性的指向及び性自認^{*P95}による差別を受けることなく、固定的な性別役割分担意識^{*P95}に基づく社会制度や慣行を解消されること。」、6項では「すべての人が、性別による差別的取扱い並びに性的指向及び性自認^{*P95}による差別を含む諸問題について、特に困難な状況にある人への配慮をすること。」を基本理念として規定しています。

条例の目的や基本理念を達成するためには、性別にかかわらず依然として存在している固定的性別役割分担意識^{*P95}や性差、性的指向及び性自認(SOGI)^{*P95}を含めたジェンダー^{*P95}に関する無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)や慣行を解消し、市民一人ひとりのジェンダー平等意識^{*P95}を醸成していく必要があります。

『性別にとらわれない誰もが暮らしやすいまちの実現』を達成するために、「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」が広く市民や事業者等に定着するよう意識啓発や情報提供を進めるとともに、ひとり親家庭や高齢者、障がい者、生活困窮者、ひきこもり世帯、外国人、性的指向及び性自認(SOGI)^{*P95}に関する課題を抱えている当事者など、様々な理由で困難な状況に置かれている方に対する具体的な支援を行っていきます。

重点取組

【基本目標1—課題2—施策(3)】



性的指向・性自認(SOGI)^{*P95}に関する課題を抱えている当事者等への支援

基本目標2

ワーク・ライフ・バランスとあらゆる分野における女性の活躍の推進

「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」（以下、「条例」という。）第3条3項では、「すべての人が、社会の対等な構成員として、政策又は方針の立案及び決定に参画する機会を確保されること。」、4項では、「すべての人が、相互の協力と社会の支援の下に、家庭生活と仕事及び地域活動を両立できるようにすること。」を基本理念として規定しています。

令和2（2020）年1月に実施した市民意識及び実態調査の結果では、社会における多くの場面で男性が優遇されているという意識が根強く残っていることが見受けられます。

特に高度経済成長期に形成されたいわゆる「男性中心型労働慣行」（長期継続雇用を前提に、長時間労働や転勤等を当然とする働き方を前提とした雇用システム）は、男性の家事や子育て・介護への参画を妨げ、また、女性の能力や個性を十分に発揮できない背景となっています。

女性活躍推進に向けては、男性の家事や子育て・介護へのかかわりや、地域活動への参画を促進し、現状における男女の参画状況の大きな差を縮小する必要があります。

一方、令和2（2020）年当初より始まった新型コロナウイルスの感染拡大が契機となり、テレワーク^{*P95}が急速に普及し、フレックスタイム制^{*P95}や時短勤務なども含む、多様で柔軟な働き方に関する新たな可能性がもたらされました。このことは、男性の家事や子育て・介護への参画を促す好機と捉えることができます。仕事とプライベートは人生を充実させるための大切な要素であり、双方を統合させて生活の質を向上させようとする「ワーク・ライフ・インテグレーション（統合）」という概念も広まり始めています。

また、近年、日本各地で頻発している激甚災害が今後本市でも発生することを想定し、条例第17条で規定しているとおり、「男女平等参画推進社会の視点に立った災害に強いまちづくり」を進めていくことも必要です。

『ワーク・ライフ・バランスとあらゆる分野における女性の活躍の推進』の達成に向けて、男性の家庭や地域活動への参画促進、女性の政策・方針決定の場や地域活動・防災対策の場における参画促進のための意識啓発や情報提供を行っていきます。また、働きたい人全てが、仕事と子育て・介護・社会活動等を含む生活との二者択一を迫られることなく働き続け、職業能力開発やキャリア形成の機会を得ながらその能力を十分に発揮できるよう、特に女性の就労・再就職や起業に向けた支援などの取組を進めていきます。

なお、本基本目標に含まれる施策を「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」（令和元（2019）年6月5日改正）第6条第2項に基づく多摩市における「女性活躍推進計画」として新たに位置づけます。

重点取組

【基本目標2－課題1－施策（1）】



ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の意識啓発と情報提供

【基本目標2－課題3－施策（2）】

男女平等参画社会の視点に立った災害に強いまちづくりの推進

基本目標3 人権尊重とあらゆる暴力の根絶

配偶者や交際相手からの暴力（DV^{*P95}・デートDV^{*P95}）や性に関するハラスメント、ストーカー^{*P95}行為、性暴力・性犯罪等のあらゆる暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であり、男女平等参画社会の実現を著しく侵害するものです。

「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」（以下、「条例」という。）第3条5項では、「すべての人が、性別による差別的取扱い、性的指向及び性自認^{*P95}による差別並びに性別に起因する暴力を決してしてはならないこと。」を基本理念の一つとして規定しています。また、第7条においても性別や性的指向及び性自認^{*P95}による差別や暴力の禁止を規定しています。

しかし、令和2（2020）年度の全国の配偶者暴力相談支援センター^{*P95}における相談件数は、10万件を超える高水準で推移しており、また、DV^{*P95}の被害者は女性の約3人に1人、男性の約5人に1人となっています。さらに、性暴力やセクシュアル・ハラスメント^{*P95}などの性被害は、被害者の心身に長期に渡り深刻な影響を及ぼすものであり、近年では若年層をターゲットにしたソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）^{*P95}を利用した被害の増加が深刻な社会問題となっています。

『人権の尊重とあらゆる暴力の根絶』の達成に向けて意識啓発と情報提供を継続的に行うとともに、DV^{*P95}等の被害を早期に発見し、被害者の安全の確保及び自立に向けた切れ目のない支援を関係各課や関係機関と連携して行っていきます。

なお、本基本目標に含まれる施策の一部を「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（平成26（2014）年1月改定）」第2条の3第3項に基づく、多摩市における「配偶者暴力対策基本計画」として現行計画から継続して位置づけます。

また、条例第16条では、「個人がそれぞれの性を理解し、及び尊重するとともに、女性と男性が対等な関係において性に関する適切な自己決定ができるよう、必要な支援を行うものとします。」と規定しています。

「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）」^{*P95}の考え方が市民や事業者に広がるように意識啓発や情報提供を行っていくとともに、女性特有の体の変化に応じた健康支援や、誰もが生涯を通じてこころとからだの健康づくりに取り組めるよう、適切な情報提供や相談窓口の充実などに努めます。

重点取組

【基本目標3－課題1－施策（1）】



暴力防止に向けた意識啓発と情報提供

【基本目標3－課題2－施策（1）】

セクシュアル・ハラスメント^{*P95} やストーカー^{*P95} 行為、性暴力の防止のための意識啓発と情報提供

基本目標4 男女平等参画社会の実現に向けた総合的な計画の推進

「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」（以下、「条例」という。）第9条1項では、「市は、男女平等参画社会の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための行動計画を策定しなければなりません。」と規定しています。

本計画を総合的かつ計画的に推進するためには、関係各課の横断的な調整機能や推進体制の充実を図ることが必要です。

また、本市における男女平等参画を推進する拠点施設である「TAMA 女性センター」の機能充実と認知度向上に向けた周知を進めるとともに、TAMA 女性センター市民運営委員会や登録団体等と協働・連携しながら男女平等参画社会の実現をめざして総合的に取組を推進していきます。

重点取組

【基本目標4－課題2－施策（1）】



TAMA女性センターの充実

SDGs（持続可能な開発目標*P95）との関わり

本計画は、平成27（2015）年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標*P95）の17の目標のうち、以下の目標の達成に向けた取組に関連するものとして対応します。

 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	すべての人に健康と福祉を	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	働きがいも経済成長も
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	質の高い教育をみんなに	 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	人や国の不平等をなくそう
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	ジェンダー平等を実現しよう	 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	平和と公正をすべての人に

《SDGs（持続可能な開発目標）の17の目標》



6

計画の体系

第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画

基本目標

課題

基本目標 1

性別にとらわれない
誰もが暮らしやすい
まちの実現

1 家庭・学校・地域等における
ジェンダー平等意識の醸成

2 困難な状況に置かれている方への
支援

多摩市女性活躍推進計画

1 ワーク・ライフ・バランス（仕事
と生活の調和）の推進

2 政策・方針決定過程における
女性の参画促進

3 地域活動・防災対策における
女性の参画促進

4 働く場での女性の活躍推進

基本目標 2

ワーク・ライフ・ balan
スとあらゆる分野にお
ける女性の活躍の推進

多摩市第2次配偶者暴力対策基本計画

1 配偶者等からの暴力の防止と
被害者への支援

2 性に関するハラスメントや
ストーカー行為、性暴力等の防止

3 生涯を通じた健康支援

基本目標 3

人権尊重とあらゆる
暴力の根絶

基本目標 4

男女平等参画社会の
実現に向けた総合的な
計画の推進

1 庁内推進体制の充実

2 TAMA女性センターの運営

施策

- (1) 「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」の定着の推進
- (2) 男女平等参画推進のための意識啓発と情報提供
- (3) 多様な性と生を尊重する意識啓発と情報提供
- (4) 市役所における男女平等参画の推進

- (1) ひとり親家庭への支援
- (2) 高齢者、障がい者、生活困窮者等への支援
- (3) 性的指向・性自認（SOGI）に関する課題を抱えている当事者等への支援

【重点取組】



- (1) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の意識啓発と情報提供【重点取組】
- (2) 男女で担う家事・子育て・介護の促進
- (3) 市内事業者への意識啓発と情報提供
- (4) 市役所におけるワーク・ライフ・バランスの推進



- (1) 市の附属機関等委員への女性の積極的な参画促進
- (2) 市職員の女性活躍推進

- (1) 地域・市民活動における女性リーダーの育成の促進
- (2) 男女平等参画社会の視点に立った災害に強いまちづくりの推進【重点取組】



- (1) 女性の就労・再就職・キャリア形成支援
- (2) 市内事業所における女性活躍推進

- (1) 暴力防止に向けた意識啓発と情報提供【重点取組】
- (2) 暴力の未然防止と早期発見
- (3) 被害者の安全確保に向けた体制の充実
- (4) 被害者の自立支援に向けた体制の充実
- (5) 相談窓口の充実
- (6) 関係機関との連携強化



- (1) セクシュアル・ハラスメントやストーカー行為、性暴力の防止のための意識啓発と情報提供【重点取組】
- (2) 性的指向・性自認（SOGI）に関するハラスメントの防止のための意識啓発と情報提供



- (1) ジェンダーや年代に応じた健康支援の充実
- (2) 「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康を守る権利）」に関する意識啓発と情報提供
- (3) こころとからだの健康づくりに関する支援

- (1) 「多摩市女と男がともに生きる行動計画」の推進・進行管理
- (2) 国や都、他自治体、関係機関との連携や情報交換

- (1) TAMA女性センターの充実【重点取組】
- (2) 市民参画による男女平等参画の推進



7 目標値設定事業

※近況値＝令和元年度実績値

基本目標 1

性別にとらわれない誰もが暮らしやすいまちの実現

事業番号	事業	担当課	指標	近況値	目標値	掲載ページ
2	男女平等参画推進に向けた意識啓発と情報提供の実施	女性センター	男女平等参画推進に向けた意識啓発事業の参加者アンケートで「とてもよかった」と回答した人の割合	—	70.0%	p 37
3	情報誌「たまの女性」やSNS * P95 等を活用した情報提供の実施	女性センター 平和・人権課	情報誌「たまの女性」の発行回数	2回	年2回以上	p 37
5	図書資料を通じた意識啓発と情報提供	図書館	女性センターと図書館の連携事業数	1事業	年1事業以上	p 37
6	教職員の男女平等参画意識の醸成	教育指導課	教職員を対象にした男女平等参画に関する研修の実施回数	1回	年1回以上	p 37
8	性的指向・性自認(SOGI) * P95 に関する正しい理解の促進	女性センター 平和・人権課	性的指向や性自認(SOGI) * P95 に関する意識啓発事業の実施回数	2事業	年2事業以上	p 38
9	【再掲】 教職員の男女平等参画意識の醸成	教育指導課	教職員を対象にした男女平等参画に関する研修の実施回数	1回	年1回以上	p 38
10	市職員のジェンダー平等意識 * P95 の醸成	女性センター	市職員を対象にしたジェンダー平等 * P95、男女平等参画に関する研修の実施回数	3回	年2回以上	p 38
13	ひとり親家庭の生活安定のための自立支援	子育て支援課	ひとり親家庭ホームヘルプサービス派遣回数	663回	650回	p 45
15	障がい者の生活安定のための自立支援	障害福祉課	地域活動支援センター機能強化事業I型の一日当たり利用人数	35人/日	50人/日	p 46

事業番号	事業	担当課	指標	近況値	目標値	掲載ページ
16	生活困窮者の生活安定のための自立支援	福祉総務課	就労率（就労支援プラン対象者のうち就労した者及び就労により収入が増加した者の割合）	74.0%	75.0%	p 46
17	ひきこもり世帯の生活安定のための自立支援	福祉総務課	他支援機関につながった割合（他機関につながった数/相談実件数）	—	20.0%	p 46
18	外国人の生活安定のための自立支援	文化・生涯学習推進課	多摩市国際交流センターが実施している外国人向けの日本語教室の参加者数	2,602 人	3,950 人	p 46
19	いのち支える自殺対策における取組	福祉総務課	自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）	18.8 人（令和元年）	10.28 人以下	p 46
20	【再掲】性的指向・性自認（SOGI）*P95 に関する正しい理解の促進	女性センター 平和・人権課	性的指向や性自認（SOGI）*P95 に関する意識啓発事業の実施回数	2 事業	年2事業以上	p 47

基本目標2

ワーク・ライフ・バランスとあらゆる分野における女性の活躍の推進

事業番号	事業	担当課	指標	近況値	目標値	掲載ページ
23	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた意識啓発と情報提供の実施	女性センター	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた意識啓発事業の実施回数	2 事業	年2事業以上	p 54
24	【再掲】男女平等参画推進に向けた意識啓発と情報提供の実施	女性センター	男女平等参画推進に向けた意識啓発事業の参加者アンケートで「とてもよかった」と回答した人の割合	—	70.0%	p 55
25	妊産婦に対する家事支援サービスの充実	子ども家庭支援センター	子ども家庭サポーター派遣事業利用者人数	70 人	80 人	p 55

事業番号	事業	担当課	指標	近況値	目標値	掲載ページ
30	多様な保育サービスの提供	子育て支援課	認可保育所の待機率(0-2歳児)	4.8% 2.7%	0.0%	p 55
31	多様な保育サービスの提供	子ども家庭支援センター	リフレッシュ時保育の延べ利用者数	1,167人	1,200人	p 55
32	多様な保育サービスの提供	子ども家庭支援センター	子育てひろば事業(地域子育て支援拠点)への利用者数	87,127人	115,000人	p 55
33	多様な保育サービスの提供	児童青少年課	学童クラブの待機児童数	50人 96人	0人	p 55
34	放課後の子どもの居場所づくりの推進	児童青少年課	放課後子ども教室への参加児童数	26,265人	36,000人	p 55
36	子育てを地域で支え合うネットワークづくり	子ども家庭支援センター	ファミリー・サポート・センター利用・提供会員数	1,305人	1,800人	p 56
40	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けた市内事業者への意識啓発と情報提供の実施	女性センター	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けた市内事業者への意識啓発事業の実施回数	0事業	年1事業以上	p 57
42	市男性職員の育児・介護休業等の取得促進	人事課	男性職員の育児休業取得率&取得期間	23.1% ※新規のため分布状況は公表データなし	20.0% うち 3週間以上が50.0%	p 57
44	市職員一人当たりの年間年次有給休暇取得促進	人事課	一般職の年間年次有給休暇取得日数	13.8日	14.5日	p 58
45	市職員一人当たりの年間超過勤務時間削減	人事課	一般職の月毎の超過勤務時間数	16.0時間	前年度比減	p 58

事業番号	事業	担当課	指標	近況値	目標値	掲載ページ
46	市の行政委員会、附属機関等における男女平等参画の推進	全庁	市の行政委員会、附属機関等における女性委員の比率	40.3%	50.0%	p 62
			女性、男性が一人もない市の行政委員会、附属機関等の数	4	0	p 62
48	市女性職員の管理・指導的立場への参画の推進	人事課	管理職に占める女性割合	20.3%	20.0%	p 62
			係長職に占める女性割合	28.1%	30.0%	p 62
50	地域・市民活動における女性リーダーの育成	文化・生涯学習推進課	地域活動につながる人材の発掘・養成に向けた講座受講者数	650人	500人 ※公民館の行う事業と合算しての数値	p 65
53	男女平等参画社会の視点に立った災害に強いまちづくりの推進	女性センター	市民や事業者を対象にした男女平等参画社会の視点に立った災害に強いまちづくりの推進に向けた啓発事業の実施回数	0事業	年1事業以上	p 66
57	市内事業所の女性活躍推進に向けた意識啓発と情報提供の実施	女性センター	市内事業所の女性活躍推進に向けた市内事業者への意識啓発事業の実施回数	0事業	年1事業以上	p 70

基本目標3

人権尊重とあらゆる暴力の根絶

事業番号	事業	担当課	指標	近況値	目標値	掲載ページ
58	あらゆる暴力の防止に向けた意識啓発と情報提供の実施	女性センター	あらゆる暴力の防止に向けた意識啓発事業の実施回数	2事業	年2事業以上	p 74
61	乳幼児健診、歯科健診等における家庭状況の把握	健康推進課	乳児(3~4ヶ月児健康診査)健診の未受診者把握率と把握時期	100% 把握時期 2ヶ月以内	100% 把握時期 2ヶ月以内	p 75

事業番号	事業	担当課	指標	近況値	目標値	掲載ページ
63	関係機関との連携強化	女性センター	「多摩市DV ^{*P95} 防止及び被害者保護に関する連絡会」の開催回数	1回	年2回以上	p75
67	【再掲】 関係機関との連携強化	女性センター	「多摩市DV ^{*P95} 防止及び被害者保護に関する連絡会」の開催回数	1回	年2回以上	p76
68	セクシュアル・ハラスメント ^{*P95} やストーカー ^{*P95} 行為、性暴力等の防止に向けた意識啓発と情報提供の実施	女性センター 平和・人権課	セクシュアル・ハラスメント ^{*P95} やストーカー ^{*P95} 行為、性暴力等の防止に向けた意識啓発事業の実施回数	2事業	年1事業以上	p79
69	【再掲】 教職員の男女平等参画意識の醸成	教育指導課	教職員を対象にした男女平等参画に関する研修の実施回数	1回	年1回以上	p79
72	【再掲】 性的指向・性自認(SOGI) ^{*P95} に関する正しい理解の促進	女性センター 平和・人権課	性的指向や性自認(SOGI) ^{*P95} に関する意識啓発事業の実施回数	2事業	年2事業以上	p80
73	性に関する教職員への研修と意識啓発	教育指導課	教職員を対象にした男女平等参画に関する研修の実施回数	1回	年1回以上	p83
74	女性のライフステージに応じた健康支援の充実	健康推進課	女性特有のがん検診(乳がん、子宮がん)の受診率	乳がん 24.3% 子宮頸がん 26.3%	前年度比増	p83
84	健康づくり地域活動の推進	健康推進課	健康づくり推進員の地区活動及び啓発活動の開催	63回	10回	p85
85	スポーツを通じた健康づくり	スポーツ振興課	週1回以上スポーツをした人の割合(体操やウォーキング等を含む)	48.0%	70.0%	p85

基本目標4

男女平等参画社会の実現に向けた総合的な計画の推進

事業番号	事業	担当課	指標	近況値	目標値	掲載ページ
86	計画推進状況の把握と評価	女性センター	本計画に位置づけた全94事業の推進レベル平均値	—	10	p87
90	TAMA女性センターの認知度向上に向けた取組	女性センター	TAMA女性センターの認知度	45.3%	55.0%	p90
91	【再掲】男女平等参画推進に向けた意識啓発と情報提供の実施	女性センター	男女平等参画推進に向けた意識啓発事業の参加者アンケートで「とてもよかった」と回答した人の割合	—	70.0%	p90
92	【再掲】情報誌「たまの女性」やSNS* ^{P95} 等を活用した情報提供の実施	女性センター 平和・人権課	情報誌「たまの女性」の発行回数	2回	年2回以上	p90

女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク



配偶者等からの暴力等、女性に対する暴力の問題に対する社会における認識をさらに深めるため、内閣府男女共同参画局では「女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク」を制定しました。このシンボルマークは、女性が腕をクロスさせた姿で、女性に対する暴力を断固として拒絶する強い意思を表しています。

